

Case : 180

フットボード側から転落しそうになる

場面の説明

フットボードが高さが低かったため、ベッドから転落しそうになった



利用シーン	 起居・就寝  夜間
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

事故は、往々にして「まさか」という状況で発生します。この事例ではなぜ足側に頭が向いたのか、さらになぜ落ちそうになっていたのか、その原因ははっきりしません。使用していたベッドは、ヘッドボードやベッドの柵（サイドレール）と比べてフットボードが低いタイプだったので、利用者がいざりながらフットボード側からベッドを降りようとしたのかもしれませんが。事故を防ぐ環境づくりには、心理的な要素の検討が必要な場合もあります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：寝相が悪かった
- 人：認知症の症状があった
- 人：転落する危険があることを予知していなかった
- モノ：ボードが簡単に乗り越えられる高さだった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 180

フットボード側から転落しそうになる

事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

フットボードが高さが低かったため、ベッドから転落しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ